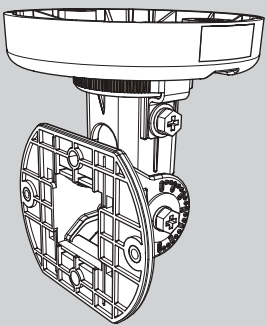


取扱／施工説明書

自在取付台 ZPDJ005A-R



このたびは、当社の製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

注意 ご使用の前に必ずこの取扱／施工説明書をお読みください。正しくお使いいただくために、内容をよく理解したうえでご使用ください。

● この取扱／施工説明書はいつでも使用できるところに保管してください。

能美防災株式会社

1. ご使用の前に

炎感知器は以下の図に示す方向性を持っています。自在取付台（以降、本製品）を使用すると、炎感知器を図に示す範囲以外の任意の方向へ向けることができます。水平および垂直方向の角度は、設備図面に指示されているとおりに調整してください。

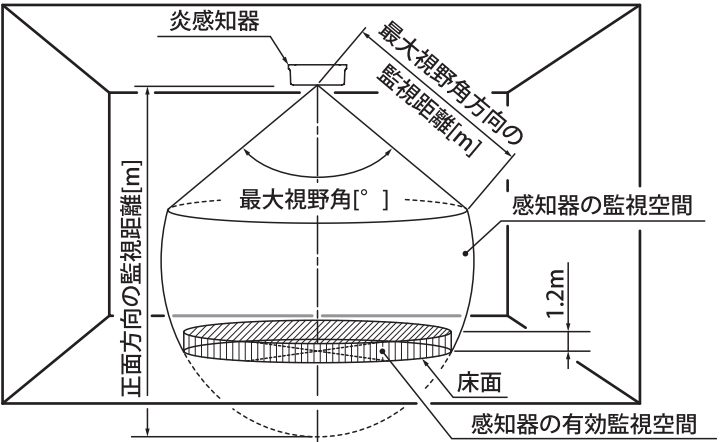


図 炎感知器の監視範囲

能美防災株式会社

本社／〒102-8277 東京都千代田区九段南4-7-3 TEL.(03)3265-0211 (代)
支社／北海道(011)746-6911 東北(022)221-2695 新潟(025)243-8121 丸の内(03)3213-1781
茨城(029)239-5280 千葉(043)266-0303 北関東(048)669-2255 西関東(042)643-1520
横浜(045)682-4700 静岡(054)340-0013 中部(052)589-3241 長野(026)227-5521
北陸(076)225-7311 関西(06)6330-8661 京都(075)694-1192 中国(082)510-1125
営業所／旭川(0166)25-5600 千歳(0123)25-8331 青森(017)729-0532 盛岡(019)645-0552
秋田(018)862-5086 郡山(024)947-1194 福島(024)528-4195 羽田(03)5757-9393
渋谷(03)3461-1051 新宿(03)5990-5770 城東(03)3626-2461 土浦(029)822-3851
成田(0476)85-4603 宇都宮(028)637-4317 群馬(027)328-1567 埼玉(049)247-4640
沼津(055)955-5227 浜松(053)473-3422 三重(059)226-9860 岐阜(058)201-3771
富山(076)444-1450 福井(0776)21-0056 神戸(078)334-3581 四国(087)868-6811
北九州(093)583-3344 長崎(095)845-0135 熊本(096)360-1051 大分(097)543-2778
宮崎(0985)28-8792 鹿児島(099)253-8196 沖縄(098)862-4297
工場／三鷹(0422)44-5141 メヌマ(048)588-1531

2. 本書の表記

警告表示は、警告文と警告レベルを示す記号の組合せで表示されます。

■ 警告文
危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをした場合に生じるおそれがある内容を、「危険」、「警告」、「注意」の3つに区分しています。

危険	取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うか、防災機能に致命的な悪影響を及ぼすことが想定されることを示しています。
警告	取り扱いを誤った場合、使用者が重傷や傷害を負うか、防災機能の一部に重大な悪影響を及ぼすおそれがあることを示しています。
注意	取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うか、防災機能に悪影響を及ぼすおそれがあることを示しています。また、防災機能を長期にわたって有効に活用するうえで、ぜひ守ってほしい事項を示しています。

■ 記号

⚠	警告・注意を促す内容があることを示しています。
🚫	禁止内容を示しています。
🛑	行為を強制したり、指示したりする内容を示しています。

3. 安全上のご注意

ここに示した注意事項は、製品を安全にお使いいただき、お客様やほかの人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。ご使用になる前に、「安全上のご注意」をよくお読みください。

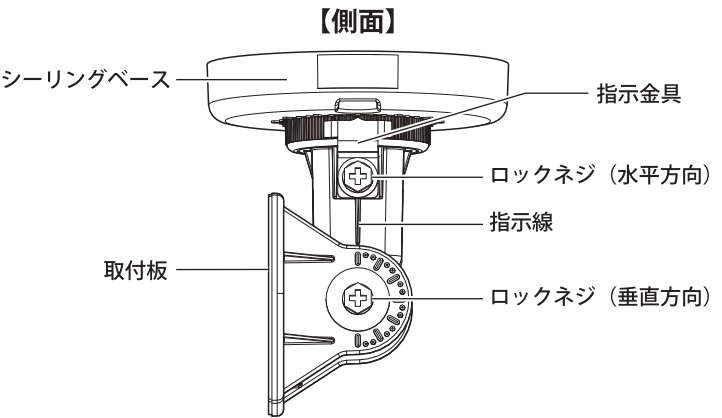
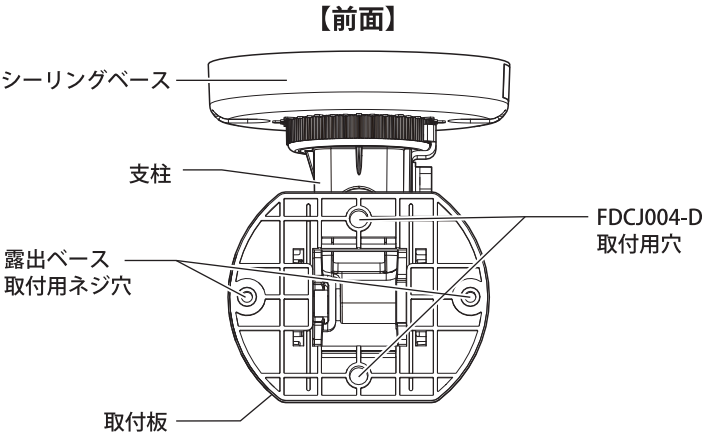
危険	本製品は、総重量に耐える構造物に取り付けてください。強度が不十分な構造物に取り付けると、構造物の破損により重大な事故を招くおそれがあります。
危険	二重天井に設置する場合は、溝形鋼などのしっかりした構造物に直に固定するか、ボックスを使用して固定してください。取付強度が不十分だと、構造物の破損などにより重大な事故を招くおそれがあります。
警告	感知器の清掃などの点検作業は、感知器の直近で行います。点検を安全に行うために、必ず足場を確保してください。
警告	感知器の前に透明なアクリル板や硝子がある場所に設置しないでください。正常な火災監視ができなくなります。
警告	以下の光源および熱源が感知器の監視空間内に入らないようにしてください。火災以外で作動する可能性があります。 ・アーク溶接などの火花 ・マッチ、ライター、花火、フレアスタックなどの炎が伴う事象 ・石英ランプ ・赤外線ストーブ
警告	直接風雨がかからない場所に設置してください。製品の劣化を早めるおそれがあります。
注意	本製品を、常時振動しているような場所には取り付けしないでください。感知器が火災以外で作動する可能性があります。
注意	実際に取り付ける場所の見通しを確認し、感知器の視野角内に障害物がないことを確認してください。不適切に設置した場合は、正確な火災監視ができなくなります。
注意	感知器の受光部に、不均一な環境光、照明光などの光が照射されないような位置に配置してください。火災の時に作動しないおそれがあります。
注意	本製品は、水平面に取り付けてください。感知器を正常な向きに固定できなくなるおそれがあります。

4. 梱包箱内の付属品

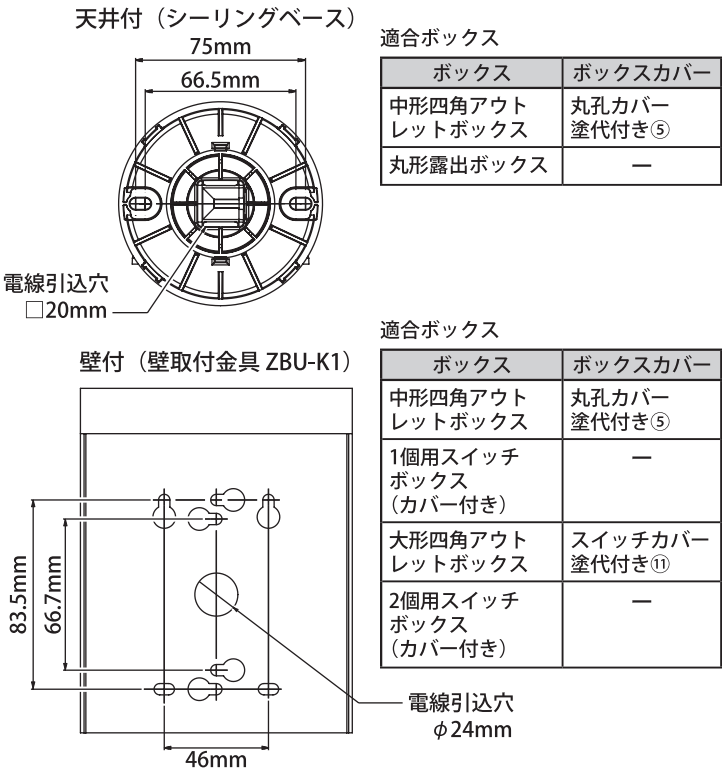
梱包箱の中には、以下の付属品が入っています。梱包箱をあけた際には、まず付属品がそろっているか確認してください。

- ◆ 取扱／施工説明書（本書）… 1枚
- ◆ 設定シール… 1枚
- ◆ M4×12ネジ… 5本
- 【内訳】2本：露出ベース固定用
- 2本：シーリングベース固定用
- 1本：予備

5. 各部の名称とはたらき

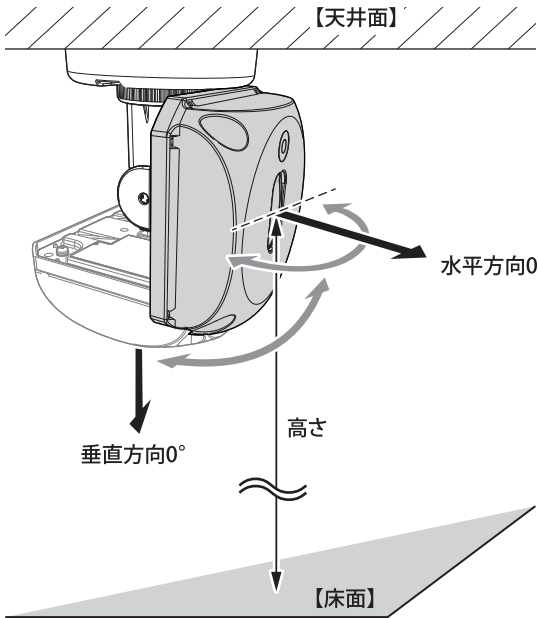


【取付寸法図】



6. 設置高さ・角度の基準について

- 設置高さの基準
床面から感知器の中心までの距離を示します。
- 設置角度の基準
水平方向：壁面と垂直な方向を0°とします。
垂直方向：天井面と垂直な方向で、真下向きを0°とします。



7. 電線について

必ず、以下の電線を使用してください。
単線：φ 0.9 ～ 1.6mm

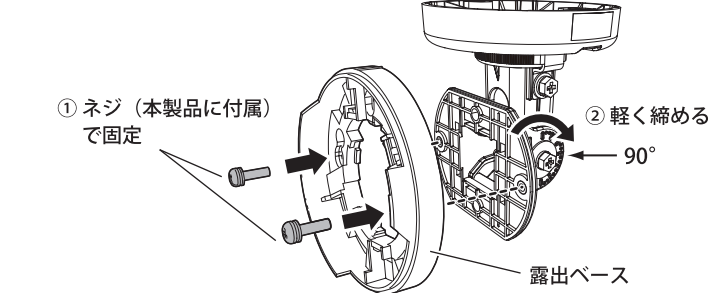
8. 仕様

製品名	自在取付台
型名	ZPDJ005A-R
可動範囲／目盛	水平方向 全方向／ 10°ピッチ
	垂直方向 ±90°／ 10°ピッチ
主材	難燃性樹脂
質量	約150g
オプション機器（別売）	壁取付金具 ZBU-K1（約520g） 遮光板 ZBU-F1（約240g）

9. 設置手順

9-1. 露出ベースを用いる場合 (FDCJ002-D-X 等)

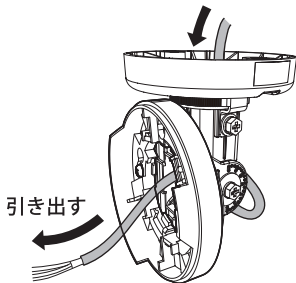
1. 取付板の露出ベース取付用ネジ穴に、露出ベースをネジで固定します。
必要に応じて、遮光板 ZBU-F1 (別売) をご使用ください。
2. 垂直方向の角度を90°に向けて、ロックネジ (垂直方向) を軽く締めます。



3. 本製品を、設置面に固定します。

■ 天井面に設置する場合

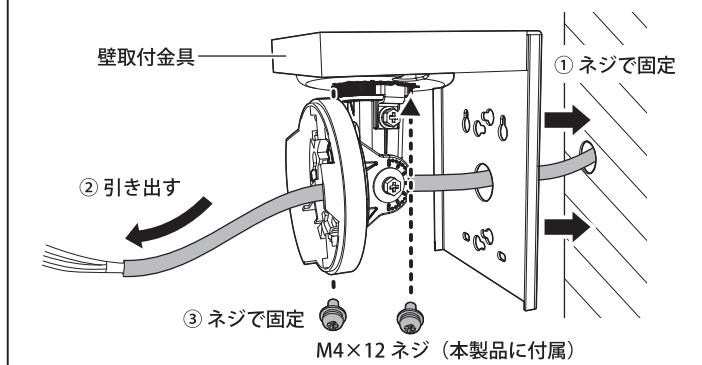
- 1) 配線をシーリングベースから挿入し、取付板から引き出します。
- 2) シーリングベースを、天井面にネジで固定します。



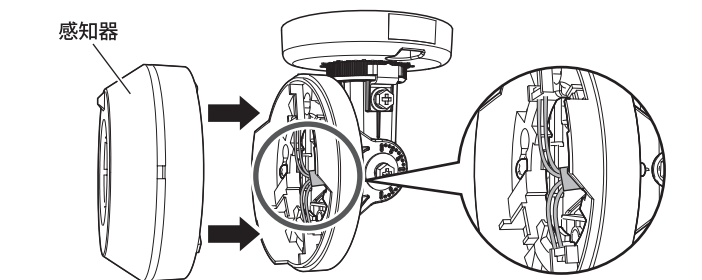
■ 壁面に設置する場合

別売の壁取付金具 ZBU-K1を使用します。

- 1) 配線を壁取付金具の中央の穴から引き出し、壁取付金具を壁面にネジで固定します。
備考 ネジは本製品に付属していません。別途準備してください。
- 2) 配線を取付板に通し、引き出します。
- 3) シーリングベースを、壁取付金具にネジで固定します。



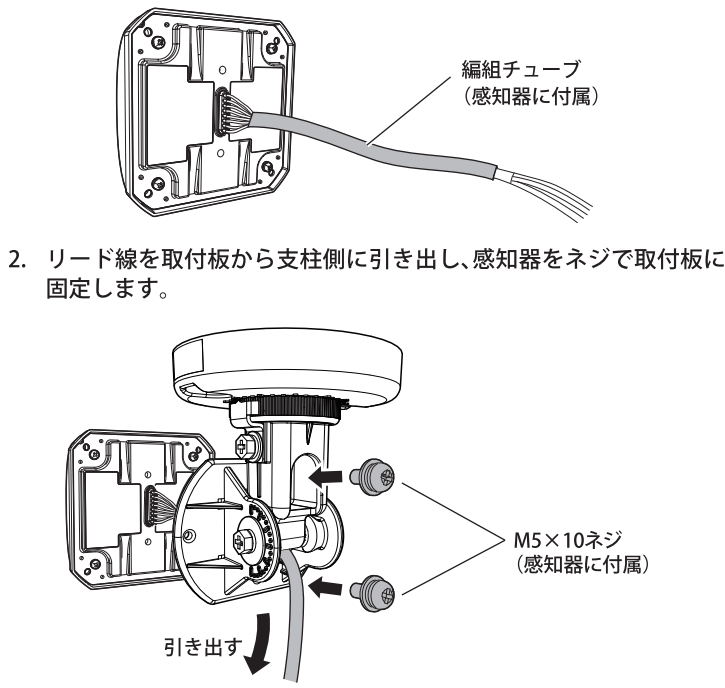
4. 露出ベースに配線を接続して、感知器を取り付けます。



5. 水平および垂直方向の角度を設備図の設定値に合わせ、ロックネジを締め付けて固定します。
角度の設定方法は、「10. 角度の設定方法」を参照してください。

9-2. 感知器を直接取り付けの場合 (FDCJ004-D 等)

1. 編組チューブを感知器のリード線に巻き付けます。



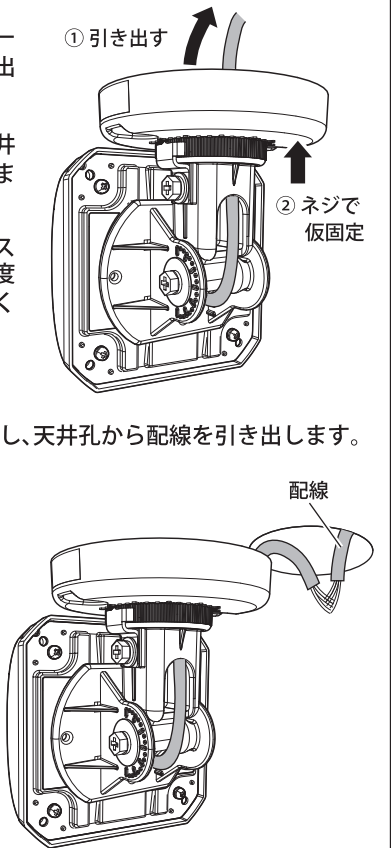
警告 指定の長さのネジを使用して固定してください。
指定されたネジ以外を使用した場合、正常な火災監視ができなくなります。

3. 垂直方向の角度を90°に向けて、ロックネジ (垂直方向) を軽く締めます。
4. 配線を適当な長さに切断し、設置面より余長分だけ引き出します。
備考 リード線との結線分、および設置面内に収納できる長さを想定して配線を切断してください。

5. 本製品を、設置面に固定します。

■ 天井面に設置する場合

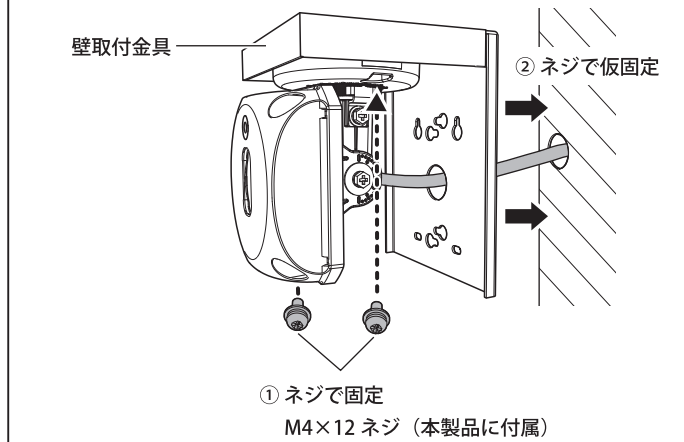
- 1) リード線を支柱からシーリングベース側に引き出します。
① 引き出す
- 2) シーリングベースを、天井面にネジ1個で仮固定します。
② ネジで仮固定
備考 シーリングベースが回転できる程度にネジを締めてください。
- 3) シーリングベースを回転し、天井孔から配線を引き出します。
- 4) 配線とリード線の結線を行い、余長を天井面に収納します。
備考 結線は、感知器の取扱説明書 (TN51865) を参照してください。
- 5) シーリングベースを回転させて、ネジ2本で本固定します。



■ 壁面に設置する場合

別売の壁取付金具 ZBU-K1を使用します。

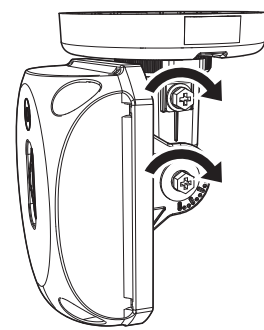
- 1) シーリングベースを、壁取付金具にネジで固定します。
- 2) 壁取付金具を、壁面にネジで仮固定します。
ネジは本製品に付属していません。別途準備してください。



- 3) 配線とリード線の結線を行い、余長を壁面内に収納します。
備考 結線は、感知器の取扱説明書 (TN51865) を参照してください。

- 4) 壁取付金具を、壁面にネジで本固定します。

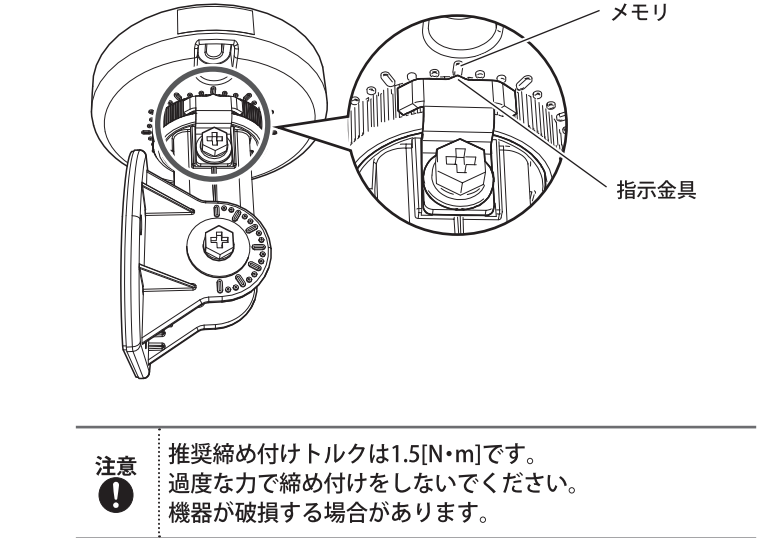
6. 水平および垂直方向の角度を設備図の設定値に合わせ、ロックネジを締め付けて固定します。
角度の設定方法は、「10. 角度の設定方法」を参照してください。



10. 角度の設定方法

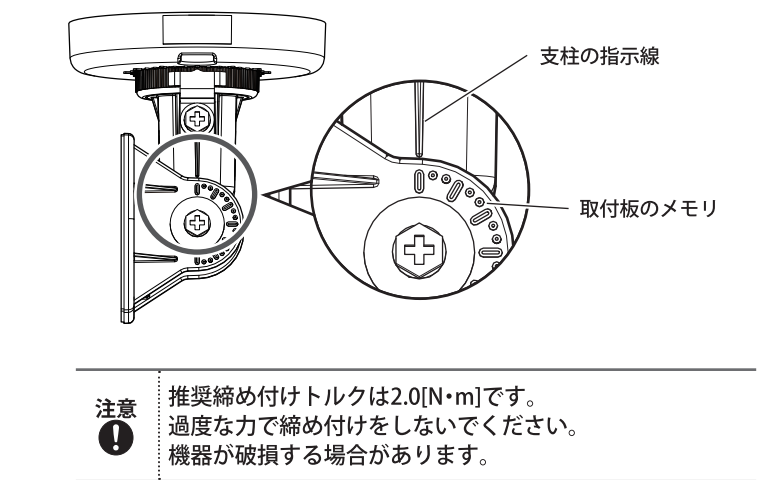
10-1. 水平方向の角度調整

本製品の指示金具とシーリングベースのメモリを確認しながら、水平方向の角度を設備図の設定値に合わせてください。



10-2. 垂直方向の角度調整

支柱の指示線と取付板のメモリを確認しながら、垂直方向の角度を設備図の設定値に合わせてください。



11. 本製品の設置を終えたあとに

付属品の設定シールに垂直方向の取り付け角度を記載し、シールの矢印を指示金具に合わせて、シーリングベース側に貼り付けてください。

